

令和 5 年 6 月 19 日現在

機関番号：12606

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00127

研究課題名(和文) 人新世における動物と芸術—21世紀の環境哲学の地平

研究課題名(英文) Animals and Art in the Anthropocene: Horizons of Environmental Philosophy in the 21st Century

研究代表者

清水 知子 (Shimizu, Tomoko)

東京藝術大学・大学院国際芸術創造研究科・准教授

研究者番号：00334847

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は芸術と環境、動物と人間の関係がどのように変化しつつあるのか、その系譜学を再考するとともに、人間と人間ならざるものとの関係性の変容を具体的な芸術作品をもとに明らかにしていくものである。文献の調査、アーティスト、キュレーター、美術館、動物園へのインタビュー調査を行った。またバイオアートをめぐる作品とその倫理的見解について再考した。それらを通して、生資本主義と芸術との関係について考察し、その成果を国際会議での発表、単著、共著、翻訳を通してまとめることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は現代社会における芸術と生命、生命と物質、生命と情報をめぐる関係性の変容について動物をキーワードに考察するものである。研究期間中にコロナウィルスが感染拡大し、メディアとテクノロジー、生と死を巡る芸術制作、アートアクティヴィズムについてインタビュー調査をふくめ、自然環境と人間社会との関係について当初の予定とは異なる角度から多くの知見を得ることができた。インタビュー、資料調査をすすめ、国内外の多くの研究者、アーティスト等との議論を経ることで、人新世をめぐる諸研究の可能性と陥穽を明らかにし、芸術とエコリティシズムの新たな地平を切り拓くうえで有用な議論を展開することができた。

研究成果の概要(英文)：This study reconsidered the genealogy of how the relationship between art and the environment, animals and humans is changing, and clarified the transformation of the relationship between humans and non-humans based on specific works of art. A survey of the literature and interviews with artists, curators, museums, and zoos were conducted. I also reconsidered works of bio-art and their ethical views. Through them, I discussed the relationship between bio-capitalism and art, and were able to summarize the results through presentations at international conferences, monographs, co-authored books, and translations.

研究分野：人文・社会 / 芸術実践論

キーワード：アート 生命 動物 テクノロジー 科学 人新世 エコロジー 死政治

### 1. 研究開始当初の背景

近年、グローバルな環境の変化及び科学技術の進展にともない、人間と動物をめぐる関係とその見解が大きく変容している。こうしたなか、人間と動物をめぐる関係も、哲学、芸術、文学、人類学、社会学、自然科学において多角的にさまざまな研究がなされている。本研究は、これらの知見をふまえた上で、現代アートにおける動物をめぐる創作活動について、アーティスト、美術館、及び観客へのインタビュー調査を行いながら、その社会的、芸術的意義を明らかにしていくものである。とりわけデジタル・テクノロジー、生命科学、生命工学に関する知見をさらに深め、バイオアート、スペキュラティブ・デザインをアーティストへのインタビューと作品分析を通して考察することで、現在の人新世をめぐる諸研究の可能性と陥穽を明らかにし、芸術とエコクリティシズムの新たな地平を切り拓くことを目指すものである。

### 2. 研究の目的

本研究は、芸術と環境、人間と動物の関係が科学技術の進展とともにどのように変容したのかを哲学、人類学、社会学、自然科学の知見を横断しながら明らかにするものである。研究期間を通じて、資料・文献調査、アーティスト、キュレーター、美術館、動物園へのインタビュー調査を行いながら、バイオアートの展開を再考するとともに、生資本主義と芸術との関係について考察した。またそれらの作品が異なる文化的背景をもつ場所においてどのように受容されているのかを地政学的に考察することである。本研究は、生態系をめぐる環境がグローバルに変容するなかで各国の研究機関、研究者と連携しながら学際的な研究として大きく発展させることを目指すものである。

### 3. 研究の方法

本研究の計画・方法は、Covid 19 パンデミックの感染拡大により、当初予定していた現場でのインタビュー調査は厳しい状況となった。だが、オンラインを通じて国際学会での研究発表、アーティストへのインタビュー調査を進めた。また動物と芸術をめぐる文献調査、資料収集及び、アーカイブ、文献読解を通じて明らかにした。アーティスト、科学者との議論をはじめ、各国の研究機関、研究者と連携しながら学際的な研究として掘り下げることで、生政治/死政治をめぐる新たな理論的地平を切り拓き、生命と芸術について次世代に向けた新たな提言を提示した。それにより、現代社会における芸術プロジェクトの意義と可能性、問題点を考察していった。

### 4. 研究成果

本研究を通じて、人新世とパンデミック時代の芸術という観点から、ロージ・ブライドッティのポストヒューマン論をめぐる理論、ダナ・ハラウェイのクトゥルー新世をめぐる議論を再考し、生資本主義と生命についてバイオアート及びスペキュラティブ・アートと呼ばれる領域において展開している事象の可能性と陥穽を検証することができた。

またデジタル・テクノロジー、生命科学、生命工学、バイオアート、思弁的实在論をはじめとする様々な分野の研究の進歩により、「生命」を単純に「自然な」ものとして、あるいは「生物学的」なものとして考えることは不可能になっている今日、環境哲学の地平から生/死政治の倫理とデモクラシーを問い直すべく、国際学会での発表、単著、共著、翻訳を通してその成果を発表することができた。

研究成果の一部として、ディズニーがスクリーンに描き出した物語は、人間と動物、人間と自然の関係性、つまりはその「あいだ」のエコロジーをめぐる認識の変容について、どのようなダイアローグの場として機能してきたのか、ディズニーによって形成された自然や動物に対する人間の認識の仕方とその変化はいかなるものなのか、そしてまた人間と動物の想像的/創造的交渉の過程をめぐる独自のドラマがどのようにテクノロジーの進展とともに制作され、グローバルな視聴者に受容されていったのかを、20世紀の欧米諸国で唱えられたエコロジーをめぐる認識と照らし合わせながら考察し単著として刊行した。

その一方で、本研究期間は新型コロナウイルスが感染拡大し、当初の予定とは異なるかたちで進めることとなった。しかしながら、ウイルスの拡大は人間のありようを大きく変え、本研究の目的でもある動物ないし生命と芸術を当初に加えて、テクノロジーとエコロジーについて新たな視点から考察していく契機となった。

その成果は、パンデミックと生/死政治時代の倫理をめぐる論考、西山雄二編『いま言葉で息をするために：ウイルス時代の人文知』における N. キャサリン・ヘイルズの「新型コロナポストヒューマン・ウイルス」の翻訳とポストヒューマン論をめぐる解説、ジュディス・バトラー『非暴力の力』の翻訳、ポストメディア研究会国際ワークショップにおける「ポスト資本主義とデモクラシー：生の哲学と翻訳の政治学」及び「COVID-19 時代における文化芸術プロジェクト」（共催ゲーテ・インスティトゥート東京）における「ポスト人新世の肖像：デジタル化する顔貌性と境界をめぐるレッスン」の発表、インターアジア・カルチュラルスタディーズ学会における「The Art of Critique in a Time of Post-Media」の国際会議での発表、ドイツにおけ

る「危機の時代の芸術と公共性—生政治・デジタルメディア・身体」の発表等、様々なかたちで国内外において発表し、議論を重ねることができた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 清水知子	4. 巻 101
2. 論文標題 21世紀の暴力とメディア学の未来：ようこそ、「インフォカリブス」の世界へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 メディア研究	6. 最初と最後の頁 65-79
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 4370
2. 論文標題 「秘密」の声を引き継ぐーアセンブリ（不）可能性の政治学	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 30
2. 論文標題 台座の戦車は再び戦場へ繰り出す夢を見るか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 融	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 50(5)
2. 論文標題 交差性（インターセクショナリティ）と階級概念をめぐる覚書	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 196-206
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 50-1
2. 論文標題 シルヴィア・フェデリーチ『ゼロ地点での革命』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 116-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 74
2. 論文標題 ケアの思想とは何か	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 64-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 74
2. 論文標題 小林エリカ インタビュー聞き手	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 2858
2. 論文標題 第3回「未来の欠片ーアートで読み解く現代社会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 全国保険医連合会	6. 最初と最後の頁 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 -
2. 論文標題 政治とポップカルチャーの古くて新しい関係を考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ブックツリー「哲学読書室」	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 -
2. 論文標題 食えることと身体をめぐる芸術の政治：約束の凝集 vol.2 永田康祐「イート」展	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ウェブ版美術手帖	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 76-6
2. 論文標題 「ディズニー化した世界で選び取る信仰と倫理」[書評] デイヴィッド・ライアン著『ジーザス・イン・ディズニーランドーポストモダンの宗教、消費主義、テクノロジー』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 52-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 5
2. 論文標題 特集巻頭インタビュー 北原恵「アートそのものがアクティビズムであり、社会を変えていく」(聞き手: 清水知子)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 リレーションズ: 批評とメディアの実践のプロジェクト	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 5
2. 論文標題 21世紀のアート/アクティヴィズム/ジェンダー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 リレーションズ: 批評とメディアの実践のプロジェクト	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 2862
2. 論文標題 第4回「未来の欠片-アートで読み解く現代社会」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 全国保険医連合会	6. 最初と最後の頁 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 57
2. 論文標題 パンデミック下の感情都市-生/死政治の時代に広場に現れる身体とデモクラシーの行方	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 建築討論	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 1754
2. 論文標題 パンデミックと生/死政治時代の倫理	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 宮城保険医新聞	6. 最初と最後の頁 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 5
2. 論文標題 I/EYEをめぐるテクノロジーとリアリティの条件 スザンヌ・ケネディ & マルクス・ゼルクノロドリック・ピASTERカー 『I AM (VR)』評	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シアターコモンズ	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 72(1084)
2. 論文標題 ポスト資本主義社会における「芸術生産」鼎談 毛利嘉孝 × 田中功起 × 清水知子	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 74-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 72(1084)
2. 論文標題 デイヴ・ビーチ『アートと資本主義』解題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 115-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 48(10)
2. 論文標題 ジュディス・バトラー「世界の表面の人間の痕跡」翻訳及び解題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 172-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 清水知子	4. 巻 75巻7号
2. 論文標題 ウイルス・プラネットとエコロジーの政治学—人新世・コミュニズム・芸術	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 18-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 72(1082)
2. 論文標題 オラファー・エリアソン「アートで描くサステナブルな世界」インタビュー聞き手	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 18-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 72(1082)
2. 論文標題 石橋友也「伝統工芸」としての品種改良を反転させ人間と生き物との関わりを問う」インタビュー聞き手	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 77-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 72(1082)
2. 論文標題 川崎和也「バイオテクノロジーとAIが提起する脱人間中心的ファッション」インタビュー聞き手	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 74-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻
2. 論文標題 アート&メディア・フォーラム 「ポスト・オープンデータ時代のカルチュラル・レジスタンス」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Real Tokyo	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 1081(72)
2. 論文標題 表現の自由と規制の事件簿 海外編	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 96-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 vol.71 no.1079
2. 論文標題 難民と芸術ー境界をめぐるレッスン	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 110-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻
2. 論文標題 スヴェトラナ・ボイム「友情のセノグラフィ」(翻訳)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ヨコハマトリエンナーレ202「AFTERGLOW 光の破片をつかまえる」ソースブック	6. 最初と最後の頁 45-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻
2. 論文標題 展評「しなやかな闘い ポーランド女性作家と映像 1970年代から現在へ 東京都写真美術館 2019. 8. 14 -10. 14」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Real Tokyo	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻
2. 論文標題 アンダ・ロッテンベルク「紆余曲折するフェミニズム」(翻訳)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 しなやかな闘いーポーランド女性作家と映像: 1970年代から現在へ	6. 最初と最後の頁 145-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水知子	4. 巻 4月号
2. 論文標題 子どもが子どもだった頃、空はいつも灰色だった	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 すばる	6. 最初と最後の頁 100-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計27件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 アーティストトーク + 作品上映: 葉山嶺
3. 学会等名 恵比寿映像祭2023コミッション・プロジェクト (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 美術館と環境アクティビズムの現在
3. 学会等名 東京大学文化芸術におけるSDGs のためのファシリテーター育成事業ラウンドテーブル（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 ポストヒューマン時代の芸術—AI・身体・ジェンダー
3. 学会等名 東京大学文化芸術におけるSDGs連続レクチャー 持続可能な社会と文化芸術（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 ねこ道のススメーケア、絵画、革命
3. 学会等名 豊田市美術館「ねこのほそ道」展
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 「アニメティックスについて：アーティストのアニメーションの新しい生活世界について考える
3. 学会等名 国際会議 ポストメディア東京会議2023（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 (ポスト)メディア研究の現在と未来」
3. 学会等名 国際会議 ポストメディア東京会議2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Tomoko Shimizu
2. 発表標題 Ecology in the Age of the Wretched of the Screen
3. 学会等名 Screens and Energy Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 ジュディス・バトラー『非暴力の力』をめぐる問い
3. 学会等名 フーコー研究フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 クィア理論と暴力の政治学 ジュディス・バトラーにおける生/性の哲学の可能性と陥穽
3. 学会等名 日本ラカン協会大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 メディアム/メディアとしてのコンピュータ
3. 学会等名 日本メディア学会秋季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 移動と芸術の政治学
3. 学会等名 上野台地芸術フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 構造としての国家・共同体と個人
3. 学会等名 関西学院大学【多様性との共生】研究センター（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 21世紀の戦争と表象
3. 学会等名 表象文化論学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 水嶋一憲、倉橋耕平、三牧聖子、清水知子
2. 発表標題 21世紀の政治・メディア・デモクラシー：ネグリノハートの『アセンブリ 新たな民主主義の編成』（岩波書店、2022年）を中心に
3. 学会等名 日本メディア学会春季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 動物とヴィランズ ネズミの王国の「悪い女」たち
3. 学会等名 日本アニメーション学会第23回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 クレア・ビショップ特別講義「情報オーバーロード：リサーチベース・アートとアテンションの政治学」ディスカッサント
3. 学会等名 グローバル時代の芸術文化概論（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 都市と芸術：東京ビエンナーレを考える1970-2020/21
3. 学会等名 東京ビエンナーレ
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 『ディズニーと動物 王国の魔法をとく』を読む
3. 学会等名 日本アニメーション学会第2回コンテンツ文化研究部会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 ようこそ、レズビアン・ファルスの世界へー父の衰退と批判的クィアの（不）可能性
3. 学会等名 小寺財団 第6回 学際的ワークショップ「女性性/男性性」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 【書評パネル】 宮崎裕助『ジャック・デリダ 死後の生を与える』
3. 学会等名 表象文化論学会第15回研究発表集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 ニュー・フラットランド」出品作家によるイベント：アーティスト・トーク 齋藤帆奈 × 清水知子
3. 学会等名 ICCオープン・サロン「オープン・スペース 2021（招待講演）」
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 ポスト人新世の肖像ーデジタル化する顔貌性と境界をめぐるレッスン
3. 学会等名 COVID-19時代のメディアと文化 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 ポスト資本主義とデモクラシー生の哲学と翻訳の政治学
3. 学会等名 Post-Media Research Network International Workshop: Digital Media, Creativity and Capitalism in the Age of COVID-19 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清水知子
2. 発表標題 「アジア型カルチュラル・レジスタンス」ディスカッサント
3. 学会等名 アート&メディア・ダイアローグ 第1回「アジア型カルチュラル・レジスタンス」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tomoko Shimizu
2. 発表標題 The Art of Critique in a Time of Post-Media
3. 学会等名 Inter-Asia Cultural Studies Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoko Shimizu
2. 発表標題 Portrait in the Digital Age
3. 学会等名 International Conference POST-MEDIA ECOLOGIES in Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoko Shimizu
2. 発表標題 War and Animals: Walt Disney's Pinocchio, Dumbo and Bambi
3. 学会等名 Decolonizing Animals: Australasian Animal Studies Association Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 清水知子 (共著)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 256
3. 書名 7・8 元首相銃撃事件 何が終わり、何が始まったのか？	

1. 著者名 清水知子 (共訳)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 256
3. 書名 非暴力の力	

1. 著者名 西山 雄二編（共訳著 清水知子）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 いま言葉で息をするために	

1. 著者名 清水知子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 ディズニーと動物 王国の魔法をとく	

1. 著者名 清水知子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 フィルムアート社	5. 総ページ数 295
3. 書名 クリティカル・ワード メディア論 理論と歴史から いま が学べる	

1. 著者名 清水知子（共著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版	5. 総ページ数 296
3. 書名 「生資本主義時代の生と芸術ークトゥルー新世・人工生命・生哲学」 伊藤守編 『コミュニケーション資本主義と コモン の探求ーポスト・ヒューマン時代のメディア論』	

1. 著者名 清水知子（共著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 332
3. 書名 「姫と魔女のエコロジー ディズニーとおとぎ話の論理」塚田幸光編 『映画とジェンダー／エスニシ テイ』	

1. 著者名 清水知子（共著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 「アメリカ ディズニー 成功と挫折の果てに」「アメリカ フライシャーとワーナー ディズニー のライバルたち」「帝国主義、愛国主義 プロパガンダアニメからアニメーション・ドキュメンタリー へ」須川亜紀子、米村みゆき編 『アニメーション文化55のキーワード』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------